

逃すな適期収穫！ 刈遅れは絶対ダメ！ 「適期収穫」は高品質・良食味生産に不可欠条件！

- ・刈遅れは着色米・胴割米が増加。⇒ 品質低下や倒伏を助長。
- ・登熟後半が高温条件となって籾水分の低下が早く、立毛胴割れの発生が懸念される場合は、収穫開始を50℃程度(2日程度)早める。
- ・出穂後25日までは必ずこまめな水管理(飽水管理)の継続
 - 登熟期間は最も水を必要とする時期です。また、早期落水は根の活力を低下させ、品質低下や倒伏を助長。
 - フェーン現象等による過高温が予想される場合は、速やかにかん水し、白穂など高温障害の発生を防止しましょう。

1 各品種の出穂状況と収穫期予想について

○収穫適期は、出穂期(出穂する全茎数の40～50%が出穂した日)からの積算温度(日平均気温の積算値)がめやす。

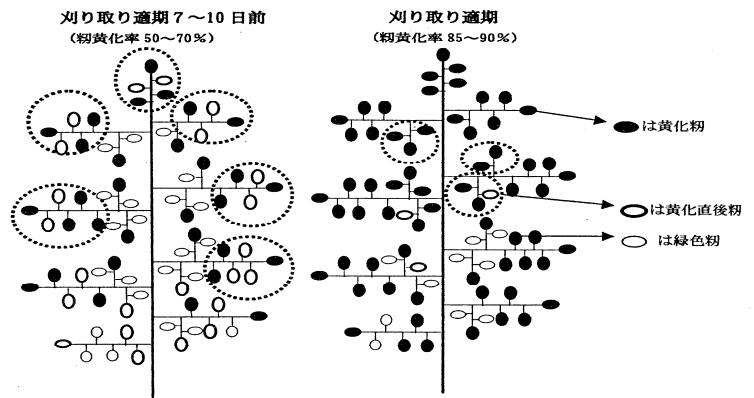
品 種 名	出 穂 期	最終かん水の目安	収穫期の目安
わたぼうし	7月25日	8月19日	8月31日
ゆきん子舞	7月27日	8月21日	9月2日
こしいぶき	7月28日	8月22日	9月3日
こがねもち	7月31日	8月25日	9月6日
連休植コシヒカリ	8月3～6日	8月28～31日	9月12～15日
適期植コシヒカリ	8月6～8日	8月31～9月2日	9月15～17日
直はコシヒカリ	8月10日～14日	9月4～6日	9月20～25日

注) 8月17日以降の日別平均気温に平年値を代入し予想したもので、8月18日以降の実際の平均気温で収穫予想は前後します。

★出穂のバラツキがあり適期の判断が難しい年です。下表の収穫の目安と別紙-その日を出穂期とした積算温度表を参考に黄化の状況を確認しましょう！

○籾黄化の状況と刈取時期

品種名	収穫適期のめやす	
	出穂後日数(日)	積算温度
コシヒカリ	40	1000℃
こしいぶき	38	975℃



2 乾燥・調製対策 ～水分15.0%、整粒歩合80%以上で1等米を～

①張り込み時のもみ水分にあわせた乾燥温度で品質低下防止

○ 乾燥機への張り込み時の籾水分が高いほど低い乾燥温度で乾燥しましょう。

生もみ水分	乾燥温度	仕上げ水分
28%以上	40℃以下	15%
24%以下	50℃以下	
18%以下	昼間通風循環・夜間乾燥	

②もみすり調製等の徹底

注: 黄化の診断は1次枝梗が9本程度の平均的な穂について行う。調査本数は20穂程度必要である。

16本以上が該当すれば7～10日前

注: 籾黄化の診断は1次枝梗が9本程度の平均的な穂について行う。調査本数は10穂程度必要である。

8本以上が該当すれば刈り取り適期

刈遅れや成熟期ごろにフェーン等で低湿度日が続いたときは、乾燥速度を毎時0.5%以下に設定

○ 籾混入の無い整粒歩合の高い1等米に仕上げるため、適正流量に調整しましょう。

○ コンタミ防止の為、コンバイン・乾燥機・調製機の使用前の清掃、収穫品種切り替え時の清掃はもちろん！異物が混入しないよう十分に注意しましょう。